

エゴノキは、日本全土に分布する、高さ5～7mくらいの落葉性の樹木です。

古くから日本人に親しまれてきた万葉植物の一つで、和名の「エゴノキ」は
果実の皮が有毒でえぐ味がある（えぐい）ところに由来しており、英名では
「Japanese snowbell」といいます。

5月から6月にかけては小枝の先に
釣り鐘状の白い花を下向きにつけ、
新緑とのコントラストがきれいです。

そして、花が散った後、秋には
長さ1cm位の卵形の果実が熟します。

また、梅雨時期になると枝先などに
独特な形をした虫こぶができます。

開放感のある自然樹形が美しいので
枝を刈り込むことはせずに、野趣を
損なうのを避けましょう。



お手入れメモ

エゴノキは、耐寒性はありますが、強い西日が当たる場所や
炎天下等の乾燥を嫌うので特に夏は水切れにご注意ください。

＊開花時期 5月から6月

＊特性 日当たり～反日蔭の場所で、湿り気のある
腐植質の多い土質を好みます。

＊水やり 土の表面が乾いたら水やりをしてください。
乾燥すると葉が上面側に反り返ります。

＊剪定 樹形を乱すのを避け不要な枝を切る程度に。

